

2025 年度（令和 8 年度）入学

名古屋市立大学大学院芸術工学研究科

博士後期課程 4 月入学（芸術工学専攻）

入 学 試 験 問 題

小 論 文 （ 60 分 ）

【 注 意 事 項 】

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この冊子は表紙を含め 1 枚あります。  
試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 3 解答用紙は 1 枚(両面)配布します。  
解答用紙には、受験番号、氏名を記入してください。
- 4 この冊子のどのページも切り離してはいけませんが、余白等は適宜利用してもかまいません。
- 5 試験終了後、問題冊子は回収します。問題冊子は持ち帰ってはいけません。

## 小 論 文

### 【設問 1】

幽体離脱を実験科学の枠組みで扱う手法として「フルボディ錯覚」が知られている。「フルボディ錯覚」の誘発方法を説明するとともに、この錯覚と幽体離脱との共通点および相違点を挙げよ。

### 【設問 2】

聴覚信号を用いて身体所有感を変調させる研究事例を複数挙げ、それらの試みが、錯覚研究に与える学術的意義について自由に考察せよ。必要に応じて、自身の研究を含めてもよい。